特産品からみた奈良県Ⅰ

統計から知る奈良 Vol.12

ごぞんじですか？ 奈良県の特産品

「奈良の特産品はなに？」と聞かれて、答えに困ったことはないですか？
奈良県の特産品は、大きく「伝統工芸品」「地場産品」「加工食品」の３つに分けられます。
伝統工芸品 は、長い歴史の中で培った伝統技術・技法によってつくられた工芸品です。
地場産品 は、地域や人々の暮らしと深く結びついた製品です。
加工食品 は、古都奈良の自然の恵みを背景に、伝統のある食品です。
奈良県の特産品の中には、全国トップレベルのシェアを誇る製品も少なくありません。
今回はそのいくつかを紹介します。

地図に表示されてある奈良県の特産品の中で、家にあるものを青色で○を付けてみよう！ご家族でご一緒にどうぞ。

スキー靴 生産量日本一！

国内シェアは50%以上。
田原本町・天理市・川西町でそのほとんどを生産しています。県外でスキー靴を作っているのは、岐阜県と大阪府くらいです。
（奈良県スポーツ用品協同組合連合会調べ）

靴下 生産量日本一！

国内シェアは約34.3%で、ソックス（短靴下）だけなら約56%を占めます。県内では、
1位が大和高田市（約33.6%）
2位が広陵町（約19.8%）
3位が香芝市（約19.4%）
となっています。
（日本靴下工業組合連合会調べ）

コラム

奈良県で靴下の生産が多いわけ

明治43年頃、現在の広陵町の人が、アメリカから靴下の機械を持ち帰り、農業の副業として始まった靴下づくり。奈良県は農地面積が狭く、副業をせざるをえなかった実情と、繊維問屋の集積地である大阪に近いという利便性、ナイロン糸をいち早く取り入れたことなどから、靴下づくりが盛んになりました。

雪国でもないのに、なんで奈良県がスキー靴？

スキー靴は最初は皮で作られていました。革製品は職人の技術が必要とされたため、皮革産業が盛んであった奈良県で生産が盛んになりました。

※１つの特産品の主要な産地が３以上の市町村にまたがる場合は、出荷額を中心に上位３市町村に限定しています。（各組合等調べ）
※各特産品に表示された市町村は順不同。

問 県広報広聴課　☎0742-27-8326　FAX 0742-22-6904